

稲線虫心枯病に対する抵抗性品種に関する研究(4)

誌名	九州農業試験場彙報
ISSN	0451162X
著者	西沢, 正洋 山本, 滋 水田, 隼人
巻/号	1巻1号
掲載ページ	p. 67-67
発行年月	1951年11月

稻線虫心枯病に対する抵抗性品種に関する研究

第4報 稻品種に於ける検定

西沢正洋・山本 滋・水田隼人

緒 言

吉井(昭26)は稻線虫心枯病々原線虫は水稻以外陸稻, 粟, エノコログサに寄生し, 陸稻は水稻同様の被害を与えると記載しておられるが, 筆者も近年陸稻栽培地に於て本病に依る被害の大なる事を散見し, 昭和24年以来施行中の本病に対する品種の抵抗性検定試験の一部として陸稻に対して同様な試験を行つたので紹介する事とした。

供試品種としては農林11号, 農林糯6号, 西海21号, 西海糯31号, 東海32号, 東海糯37号, 凱旋糯, 団子糯を用いた。各供試品種は温湯消毒後播種し, 各品種に接種区(被害穀散敷布区)及び無接種区を設け各品種を乱塊法により配置し, 更に接種, 無接種区を Split-plot により区別した。被害穀は1坪14.5 gr(1合)として2回行つた。無接種区は煮沸せる穀を同量散布し, 散布後は直ちに覆土を行つた。栽培法は熊本縣農業試験場陸稻耕種概要によつた。

試験方法及び材料

試験結果

第1表 発病調査成績

品 種 処 理	西海糯31号		東海32号		東海糯37号		西海21号		農林糯6号		凱旋糯		農林11号		団子糯	
	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b
発病率	0.03	0	0.1	0.1	0.2	0	0.5	0	2.9	0	4.7	0.03	5.9	0.2	10.5	0.6

表中の数字は発病率(%)、aは処理、bは無処理である。

以上の結果を Bliss の表により変数変換して分散分析を行うと品種間、処理間に 1% 水準で有意差が認められた。

考 察

発病調査の結果を D. NEWMAN の方法で Range の検定を行えば次の如く組分けされる。

発病少	発病中	発病多
西海糯 31 号	農林糯 6 号	団子糯
東海 32 号	凱旋糯	
東海糯 37 号	農林 11 号	
西海 21 号		

収量調査は次期研究にゆずる事とした。